

留 学 報 告 書

記入日：2011年11月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	ミズーリ州立大学 Missouri State University
留学期間	2010年8月～2011年5月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年6月16日
明治大学卒業予定年	2012年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月中旬～12月中旬 2学期：1月中旬～5月中旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	23092人 (2010年)
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$1100	10万円	前期語学学校
宿舍費	\$4800	48万円	
食費	\$1700	17万円	
図書費	\$400	4万円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	\$1000	10万円	形態：
渡航旅費	\$2400	24万円	
雑費	\$3000	30万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$14400	約140万円	

渡航関連

渡航経路：成田、シカゴ、スプリングフィールド

渡航費用

チケットの種類	
往路	16万
復路	\$890
合計	約24万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

行きチケットはHISを利用しましたが、可能であればStudent Universeなどの海外のサイトから購入したほうが安く買えます。

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

学生寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋（同居人数3人）

3) 住居を探した方法：

渡航前にインターネットで希望の寮を申請。

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった
 利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

私の滞在先はとても安全な場所でしたが、図書館などで席を離れる際は必ず身の回りの物を持って離れるようにしていました。私ではありませんが、先輩がパソコンの盗難にあったそうです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

Wifiが校内では使えますが、寮ではインターネットケーブルが必要でした。（寮による）

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

渡航前の説明会で聞いたキャッシュパスポートを使いキャッシュも用意できるようにはしていましたが、ほとんど日本のクレジットカードを使っていました。円高だったので、手数料込みでも割と安く使うことができました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特にありませんが薬は日本のものの方がいいかもしれません。女性の方は自分にあった基礎化粧品とかがあると便利かもしれませんね。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
キャリアセンターに帰国後相談しに行くことをお勧めします。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
楽天 来年度から英語公用語化する会社であり、自分の英語力を活かせると思ったこと、また、一つの会社で多くの事業を取り扱っていることから活躍できるフィールドの広さに魅力を感じたため。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
私は帰国後まずキャリアセンターに行きました。その際聞いた留学経験者を対象とした合同セミナーなどに参加し、多くの企業の説明を聞き自分の興味はなんなのか、と徐々に考えをまとめていくレベルからのスタートでした。今年は震災の影響もあり、全体的に遅れが生じていたので、私は帰国してからの開始で問題ありませんでしたが、留学先からマイナビなどに登録し、情報収集しておくのがベストかなとは思っています。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
32 単位	30 単位
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
Writing	ライティング
科目設置学部・研究科	English Language Institute
履修期間	2010年 8月～12月
単位数	
本学での単位認定状況	10 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 5 回
担当教授	Chaz Miller
授業内容	所謂英語での文章力を鍛えるクラス。文法も学びながら大学できちんとしたレポートが書けるようにするため定期的にレポートの提出が求められる。
試験・課題など	中間・期末テストに加え、数回文法のクイズがある。
感想を自由記入	ライティングのテストは約3～6時間ほどパソコン室にこもり、テーマに沿ったペーパーを書き上げるといったタフなものであったが、日本で習った文法とは違った実際に使える文法が覚えたりした点ではよかった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Listening		リスニング	
科目設置学部・研究科	English Language Institute		
履修期間	2010年 8月～12月		
単位数			
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に60分が4回		
担当教授	Liza Armstrong		
授業内容	大学の講義が聞き取れるレベルまでリスニング力を伸ばすクラス。他大学から特別講師を招いた授業もあり、基本のリスニングから応用レベルの力が身につく。		
試験・課題など	授業内では大学の授業のDVDを見た後にクイズをしたり、週に一度程のペースでリスニングログといった自分で短いドラマなどをみた感想などを提出する課題が課される。		
感想を自由記入	難易度はそこまで高くはないが、定期的なクイズがあるため、それに備えた勉強として日頃からリスニングに力を入れる習慣ができた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
World Cultures		世界文化	
科目設置学部・研究科	Department of Sociology and Anthropology		
履修期間	2010年8月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Loughlin, Michael L		
授業内容	世界の大きな文化の比較などをしていくというよりは、特異な文化をピックアップして学んでいくクラス。同じ科目を数人の教授が担当しているため授業内容は教授により若干異なるが、基本的には教授から渡されるPDFファイルや、課題の本数冊を用いながら他の文化を考察していく。		
試験・課題など	課題の本をベースにしたペーパーが三枚にテストが三回。		
感想を自由記入	自分の全く知らなかった文化を知れたのはよかったが、自分が期待していた文化比較の授業ではなかった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Global Studies		国際学	
科目設置学部・研究科	Modern and Classical Languages		
履修期間	2011年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義＋プレゼンテーション（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Joseph Hughes		
授業内容	Seven Revolutions という2015年までに私たちが抱えるであろう問題点を conflicts, population などの7つの観点から考察していく授業で、講義というよりはグループワーク中心の授業。最初の約2ヶ月は教授の講義もありつつ、最後の2ヶ月は1週間に1グループが授業を担当するといったプレゼンテーションがメインなクラス。		
試験・課題など	このクラス用に設けられたHPへの書き込み、またグループワークや最終プレゼンテーション、小レポートなど。		
感想を自由記入	この授業はどの授業よりもとても印象に残っている。アジア人がたった一人しかいないクラスで、アメリカ人を前にしてプレゼンテーションをしなければいけなかったからだ。持ち時間は約30分で、前日まで必死に原稿を覚えた記憶がある。頑張った甲斐もあり、教授からはパワーポイントもプレゼンも高く評価してもらえた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Public Speaking		パブリックスピーキング	
科目設置学部・研究科	Department of Communication		
履修期間	2011年1月～5月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	3単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	プレゼンテーションメイン（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	Borich, Lynn K		
授業内容	この Public Speaking の授業は現地学生が必須でとる授業であり、私がとったのは International Students 向けのクラス。一クラス20人弱と少数で、毎回テーマに沿った話を考え、しっかりと outline をまとめた後に発表する。		
試験・課題など	課題は source を集めたり、outline を writing center に持って行ってチェックされたものを提出したりする。試験の代わりに約4、5回あったプレゼンテーションで発音、内容、話し方など総合的に評価される。		
感想を自由記入	あまり人前で話すのが得意ではないが、話したい内容をしっかりまとめ、いかに相手に伝わりやすく話すことができるのかを考えることで、自信をもって発表することができた。何度も繰り返しプレゼンしていくうちに、人前で英語を使い話すことへの抵抗感が薄れてきた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Social Problems in today's American society		社会学	
科目設置学部・研究科	Department of Sociology and Anthropology		
履修期間	2011年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Stone, Lorene H		
授業内容	アメリカのコミュニティーの中で起こっている社会問題について考えるクラス。貧困、環境、医療費、ドラッグに関することなど、時には専門家を招いたレクチャーを受ける。		
試験・課題など	3回ほど社会問題に関するテーマでのペーパーがあり、final assignmentとして研究課題が課され、社会問題をテーマに、ポスターの作成や、ボランティア活動、研究など自由に行い最後のクラスで発表した。		
感想を自由記入	日本とは文化の違うアメリカでは問題になっている社会問題ももちろん違っていた。その違いを知るのがおもしろく、とても興味深い授業だった。特にドラッグの話や、医療費の問題などは日本と比較してみるとおもしろい。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
World Regional Geography		世界地理学	
科目設置学部・研究科	Geography, Geology, and Planning Department		
履修期間	2011年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Deborah Corcoran		
授業内容	世界の地理や文化、簡単な政治事情に至るまで幅広く学ぶ。大きく大陸ごとにわけて授業が進められる。		
試験・課題など	新しいエリアの学習が始まる前にその地域に関する課題がだされ、地図などを覚えなければいけない。試験は4、5回。最後のテストも総合問題ではなく、前回テストからあとの範囲なので比較的勉強しやすい。		
感想を自由記入	この授業はもちろん地学的な側面も持ちつつ、地域ごとの文化も学べたのでとても興味深かった。教授が作るパワーポイントをプリントしてもっていき、書き込みながら授業を聞くためリスニングしながらの同時作業で少し大変だったが、教授のパワーポイントがとても分かりやすく、写真を多用していたり、動画による説明が多かったりと、生徒の興味を引く授業を心がけてくれたのでとてもおもしろかった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	留学準備。チケットの手配や、留学先大学の情報収集。
4月～7月	VISA取得など、現地大学と連絡をとりあいながら、寮の申請など、事務的手続きを進める。
8月～9月	8月渡米。最初のヶ月は現地の生活に慣れるだけで、あっという間に過ぎていく。
10月～12月	ハロウィーンなどの様々なイベントが行われるこの時期だが、同時に12月にあるFinalテストにむけた勉強開始。
2011年 1月～3月	アメリカで初の年越し。ミッドタームのテストがこの時期にあるため、勉強開始。2月には大雪による休校が何度かあった。
4月～7月	帰国準備開始とともに、Finalテストに向けての勉強。5月初旬に授業終了、6月にアメリカ国内旅行の後、帰国。
8月～9月	日本で就職活動。合同セミナーなどに参加し、情報収集。
10月～12月	就職活動も終わり、明治の授業とアルバイトの日々。